

■ 熱割れについて

窓ガラスにウィンドウ用フィルムを貼ると、ガラスの温度が上昇し、割れることがあります。

熱割れが生じる条件は①ガラスの種類、②窓の方位、③影の形状、④カーテンやブラインドの影響、⑤ガラスの大きさ、⑥ガラスの取付状況によって決まります。

熱割れが発生する可能性についてはお問い合わせください。

熱割れ現象とは

窓ガラスが太陽放射熱を受けた場合、ガラスへの熱吸収により中央部が高温になります。その反面ガラス周辺部はサッシ内に入っているため日射が当たらず、またサッシへの放熱もあり、低温のままで膨張しません。この為、周辺部は中央部の熱膨張を拘束することになり、引張応力が生じます。

■ 施工後の水残りについて

施工完了後、ガラスとフィルムの上に僅かに残った施工液が水泡として現れたり、フィルム面が一時白濁することがあります。この現象は水分が水蒸気化して徐々に抜けてきれいになりますが、日当たりの悪い場所、気温の低い場所、多湿の場合などある程度日数がかかることがあります。

■ 干渉縞について

耐摩耗性ハードコート層が付与されたウィンドウ用フィルムでは、室内蛍光灯や太陽の反射光によって干渉縞が見えることがあります。これは、ハードコートの様な塗膜を塗布することで、一部の波長の光が強め合うために起こる現象で、フィルム表面が虹色に見えることがありますので予めご注意ください。

※FD-W0002は構造上、フィルム越しに見える対象物(主にタイルや縞模様の壁)の影響で、干渉縞や揺らぎが強くなる場合があります。

■ 施工後のメンテナンスについて

1. 清掃について

- ・ 柔らかい布を使用して水拭きしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を汚れの程度に応じて使用してください。中性洗剤を使用したときは、洗剤が残らないように十分に水拭きしてください。
- ・ 水拭きするときはフィルムの表面を一方方向に拭く様にしてください。
- ・ アルカリ性、酸性の洗剤及び有機溶剤などは、使用しないでください。
- ・ 乾拭きは避けてください。
- ・ クレンザー、硬い布、紙などフィルム面を傷つける恐れのあるものは使用しないでください。
- ・ フィルム面に継ぎ目があるときは継ぎ目に沿って拭いてください。

2. 日常のご注意

フィルムを劣化させず、長い期間ご使用いただく為に下記の点にご注意ください。

- ・ 硬い物や尖ったものを当てないようにしてください。
- ・ タバコの火、その他の高温の熱源を近づけないでください。
- ・ セロハンテープを貼り付けたり、マーキングフィルムなど粘着剤を使用したものを貼り付けしないでください。

■ FD-W0002について

【輝線】フィルムに直射日光が当たるとフィルム上に明るい線が見えることがあります。

これは、フィルムの内部構造によるものであり、フィルムや施工の不具合によるものではありません。

【ダブルビジョン】日中、室内より屋外を見た時に、光の反射率の高い部分で(白色や銀色など)像が二重に見えたり、虹がかかっているように見えることがあります。また、夜間においても、屋外の照明が多重に見えたり、室内の照明が映り込む現象が見えることがあります。これはフィルムの内部構造によるもので、フィルムや施工の不具合によるものではありません。

<http://www.soleita.jp>



PLASTICS & BUILD MATERIALS

藤田産業株式会社

FUJITA INDUSTRY Co., Ltd.

※このカタログの内容は、予告なく変更することがございますので、予めご了承ください。 ※サンプルが必要な方は、HPまたは販売店までお問い合わせください。